

ぜんしゅうきょう

発行：全日本宗教学具協同組合 〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-16-7 第二小林ビル2階 TEL:03-6206-0413 FAX:03-6206-0414



令和5年度全国研修会を京都で開催！

「全国中小企業団体中央会」の補助金事業による全宗協全国研修会は10月5日(木)、6日(金)の2日間、TKP京都四条駅前カンファレンスセンターでリアル参加のみにて行われました。「私たちは業界の『よき祖先』になれるか、変容する市場の商機を探る」をテーマに講演と鼎談、グループワークで未来を見据えて今を考える長期思考を学び、新たな視点が開けた有意義な研修となりました。参加者42名。

【総評】

変容する市場に商機を探る

池田 典明 理事長

皆さま長時間にわたり、本当にお疲れさまでした。墓田先生には2日間の講義内容を深夜まで作業して、的確にポイントを分かりやすく総括していただき、改めて内容の濃い研修であったこと、感謝申し上げます。

今年コロナが5類に移行となり、京都会場でのリアル開催となりました。講演、鼎談、グループワークも行われ、また、先ほどは業界と繋がり深い漆芸の世界にも触れることができ、バランスの取れた研修だったのではないのでしょうか。

今研修では「若者の言葉から未来を探る」「継承」「最適化」などの言葉が出てきました。我々は宗教用具という伝統工芸産業に携わる者として、次の若い世代へ、伝統技術を継承することのみならず、歴史(ストーリー)・物語(ストーリー)・意志(ウイール)

をブランドとして次世代に伝承していく事が役目ではないでしょうか。従来の技術の継承だけではなく、時代に合わせた商品開発を行い日本から海外に向け発信する。しかしそこでは、世界の多様な生活文化を探るにより可能性が広がることを学びました。

全宗協に入っていれば、商売で競い合っているにも実際に会ってコミュニケーションを取り、研修で磨き合うことにより、懇親が深まるのではないのでしょうか。ぜひこの研修会のいいところを組合員の皆さまにもっと広めていただきたいと思います。

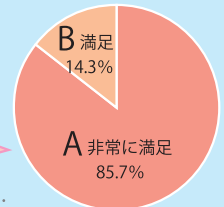
この研修会が全宗協組合員の人間力を醸成していく事のみならず、宗教用具業界に新しい息吹を吹き込んでいく事を切に期待いたします。皆さま2日間、ありがとうございました。

アンケートから

2日間の参加者のアンケートより「研修内容」についての結果と、講師ごとの気になった言葉を抜粋してお伝えいたします。

研修会の満足度評価

A 非常に満足	85.7%
B 満足	14.3%
C 普通	以下0%
D あまり満足できない	
E 非常に満足できない	



ひきた氏 基調講演

レッテルを貼らない / 凡夫 / 人生は一本道ではない地図 / 伝わる言葉 / 小確幸 / 伝わる伝道 9 箇条の完成を期待 /

松本氏 講演

未来に多くの選択肢を残す / 祖先 / 修養 / 誰もが誰をも吊ってよい / あえて誤読する / 宗教用具の名称変更 / 産業僧 / 先祖供養の輸出 /

鼎談

仏壇屋・宗教用具という言葉を手放す / 未来を見据えたもの作り / 長期思考 / パーソナル / 最適化 / 多様化 / 世間の変化を受入れる /

グループワーク

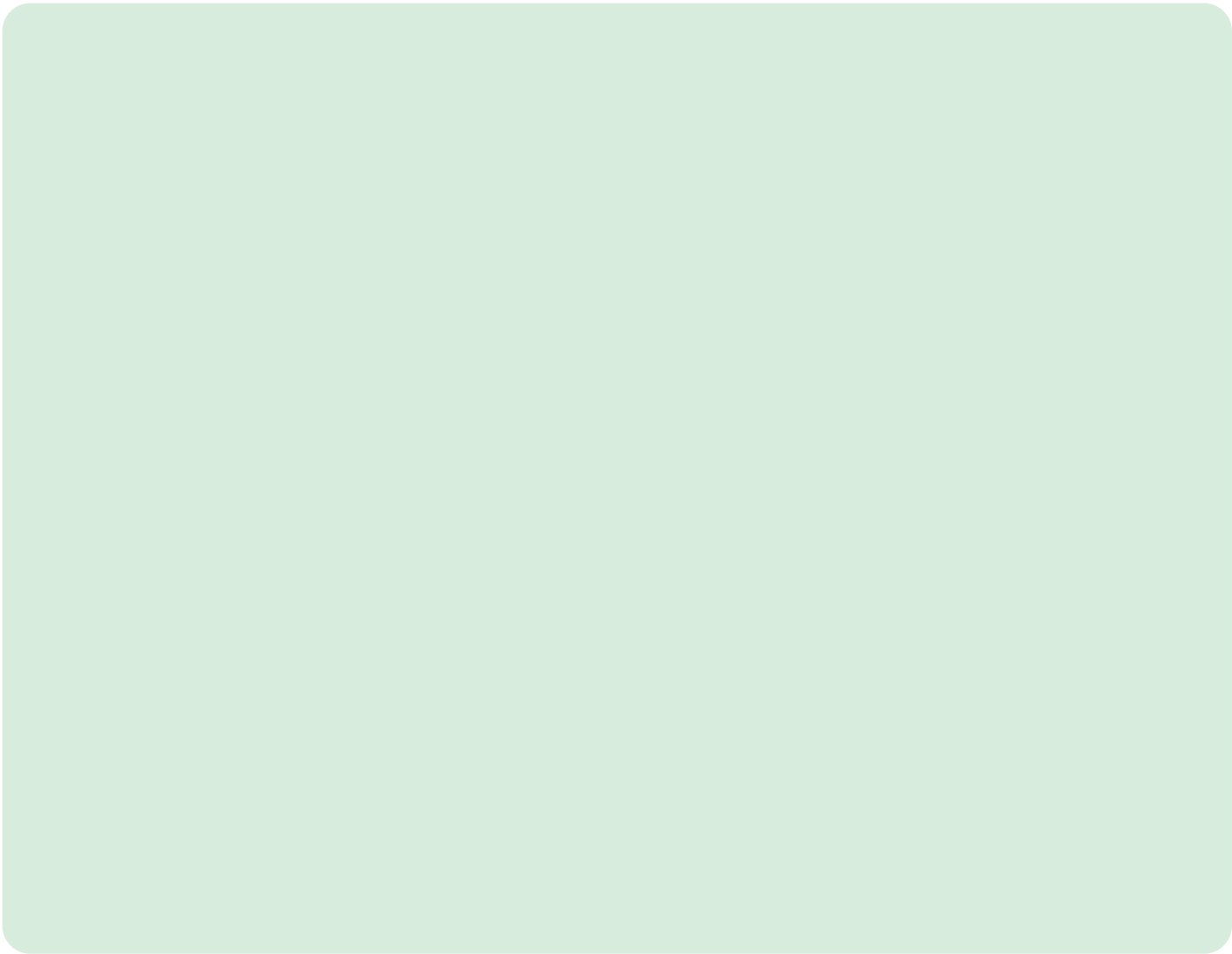
様々な業種、世代の意見を聞いた / いろいろな意見が楽しかった / 死を見つめて今を生きる / 死生学 / 伝統を守り変化する /

下出氏 講演

相手のニーズに合わせる / 工法の異なる蒔絵を見られた / 日本の漆文化は 9000 年の歴史 / 伝統芸術の歴史と継承 / 世界を知る /

ひきた氏 総括

最適化 / 何を捨て、何を残すか / 長期化戦略と最適化 / 分かり易くまとめて頂き理解が深まる / 不要なものを捨て余白を活かす /



結果報告

仏壇販売の現場で役立つ
・業界標準テキスト



2. 組合員数 288名 (令和5年12月20日現在)

3. 組合員関係者の計報 (令和5年5月7日～令和5年12月20日)

【京滋地区】

(株) 安藤 代表取締役 安藤健作様 ご尊父 安